

**雲仙市**  
**環境省九州地方環境事務所**  
**長崎県**  
**(一社)雲仙温泉観光協会**

令和3年10月13日

担当課	雲仙市観光商工部
担当者	観光物産課 竹中
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3205

## 創造的復興へ本格始動！

令和3年8月豪雨から10月13日(水)で2ヵ月となります。この2ヵ月間、多くの皆様に、お見舞い、励ましをいただき、また、支援になればと足をお運びいただいたり、お泊りいただいたりと、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

その間、国、県、市、地元も連携し、復旧に向けた様々な取り組みを行って参りました。

現状としましては、青雲荘及び小地獄温泉館を除く、すべての宿泊施設及び温泉施設は通常どおりの営業を行い、地獄の園路も、八万地獄を除くすべての園路が開放され、お客様をお迎えしているところでございます。

10月6日・7日には、九州各地の旅行会社を招き、雲仙市へのツアー造成に向けた現地視察や商談会(一般社団法人長崎県観光連盟主催)を開催させていただいた他、10月9日の「雲仙ジオバーガー」の発売を皮切りに、秋の紅葉シーズンに向け、「はだしで遊ぼう雲仙」や「ONSEN ガストロノミー」の開催を予定しております。

今後は、被災した八万地獄の再生に向け、これまで以上にエコで自然に優しく、魅力ある景観と体験を提供できる、世界に誇れる「雲仙地獄」となるよう、グランドデザインの検討に入ることであります。

2ヵ月の節目を迎え、地域と行政が一体となり、これまで以上に魅力ある温泉街を目指し、着実に、復旧から創造的復興に向けて歩みを進めておりますので、今後の予定と併せて報道各社の皆さまにお知らせします。

コロナも落ち着いて来ておりますし、チーム長崎セーフティーで感染対策も整っておりますので、十分対策を整え、三密を避けて、遊びにいらしていただければ幸いです。

今後とも、市観光戦略で雲仙温泉の普遍的価値として掲げた『生きる力がよみがえる雲の上の避暑地へ』を具現化し、『島原半島とともに6日間滞在できる雲仙』とするため、着実に、歩みを進めて参ります。心ひとつに「越えて、より先へ雲仙」。

### ●今後の予定について(詳細は調整中。後日、報道発表予定)

- 10月24日(日) **雲仙BASEオープンイベント**  
※2020年3月に閉校した雲仙小学校(雲仙小中学校)が、ヒト・モノ・コトをつなぐ交流コミュニティ拠点として再出発!色んなワークショップなどが開催されます。
- 10月30日(土) **はだしで遊ぼう雲仙**  
※日本最古のパブリックコースである雲仙ゴルフ場を開放!芝生の上を、裸足で思いきり走り回しましょう。親子での参加が多いイベントです。
- 11月13日(土)14日(日) **海と山のONSEN・ガストロノミーウォーキング**  
※昨年大好評だったイベントが今年は、小浜温泉と雲仙温泉の連続開催で登場!  
小浜温泉の海と、雲仙温泉の山の一押しスポットを歩きながら、地元雲仙市産の食材をたっぷり使った食を楽しめます。最後は温泉で癒されてください。
- 11月15日(月) **第1回ナショナルパーク・サミット**  
※食・温泉・自然など、国立公園などに係る自然資源を活かした持続可能な地域活性化のための学び合いの場とし、日本初の国立公園である雲仙から第1回を始め、今後、全国を回って開催していくことを想定しています。

●最新情報は、『雲仙温泉観光協会ホームページ』、『全員集合!雲仙ポータル』をご確認ください。